



2025年5月8日

ENEOS リニューアブル・エナジー株式会社

ERE グループが

エクソルと中部エリアの低圧太陽光バルク開発における協業を開始

ENEOS リニューアブル・エナジー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：竹内一弘、以下「ERE」）は、株式会社エクソル（本社：東京都港区、代表取締役社長：鈴木伸一、以下「エクソル」）と中部エリアでバルクスキーム^{*1}での低圧太陽光発電所の開発について協業していくことで合意しました。

本事業では、エクソルが開発・建設した太陽光発電所を ERE グループが譲り受けます。2026 年までに 50 件・合計設備容量 5 MW 規模の発電所を順次着工・建設し、2026 年中に全ての発電所の運転開始を予定しています。

再生可能エネルギーの拡大が求められている一方で、国内における大規模な太陽光発電所の適地は減少しています。太陽光発電事業の専門企業として同事業に精通し、近年は低圧・高圧太陽光発電所の開発にも注力するエクソルと、発電所開発に加え蓄電池活用やコーポレート PPA^{*2}による売電に強みを持つ ERE グループが協働することで、開発難易度が高まる事業環境の中でもスピード感を持って発電所の開発を進めることができると考えています。

ERE は今後もこれまで培ってきた知見を活かしながらエクソルと連携を深め、再生可能エネルギーの普及と脱炭素社会の実現に努めてまいります。

*1：複数の発電所を同時並行的に開発・建設することで、大規模な発電容量を確保するスキーム

*2：PPA は“Power Purchase Agreement”（電力購入契約）の略称

以上